

令和4年2月

大和市立各小中学校

保護者の皆様

大和市教育研究所

学級閉鎖時等の1人1台端末の活用について

コロナ禍の中、児童生徒の学びを保障するとともに、担任が一人ひとりの健康状態を把握し、登校していない間も児童生徒が安心して学習に取り組むことができるよう、大和市立各小中学校では、学校ごとに方針を定め、1人1台端末の活用を進めています。お子様の健康状態や学年等を考慮しながら、必要に応じて無理のない方法で進めてまいりますので、以下の活用例をご覧ください、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

《 活用にあたって 》

◆児童生徒が Chromebook を持ち帰ります（持ち帰らない場合は、お子様にご家庭の端末でログインできるよう支援をお願いします）。

1 学級閉鎖のクラスの児童生徒に向けた活用例

【健康観察】

(1)ロイロノート・スクールで、かんたん健康観察！

- ①児童生徒…朝、指定された時刻までに、体温やその他の症状等をロイロノート・スクールのカードに
入力する。
- ②教員………毎朝、ロイロノート・スクールの一覧表で、全員の健康状態を確認する。

(2)Google Meet で朝の会

- ①教員………朝の会を実施する（顔を見て挨拶を交わす、「本日の課題」について説明する 等）。
- ②児童生徒…決められた時刻に Meet にアクセスする。

顔が見えるため、お互い安心できます。

【学習】

クラスルームの「ストリーム」やロイロノート・スクールを使って課題に取り組めます。

(1)学習ドリル(e ライブラリ)に取り組む

- ①児童生徒…教員に指示された内容に取り組む。
- ②教員………必要に応じて児童生徒の取組状況を確認する。

(2)動画を視聴する

- ①児童生徒…学BOXの「おすすめリンク」内の「NHK for School」や「サイエンスチャンネル」内のコンテンツなど、教員に指定された動画を視聴する。

(3)教員が配布した課題に取り組む

- ①児童生徒…ロイロノート・スクールやクラスルームなどを使って教員から配布された課題に取り組み、提出する。
- ②教員………提出された課題を確認する。必要に応じて採点や返却等を実施する。

【その他…Meetの活用例】

- ◆児童生徒が自由に出入りできる時間を作り、学習に関する質問を受け付ける。
- ◆「〇〇の復習」等、テーマを設定し、教員が説明する。
- ◆1日の終わりに「振り返りの会」を実施し、課題の進捗状況の確認や明日の課題の連絡を行う。



2 長期間にわたり、学校に登校することのできない児童生徒に向けた活用例

※1と併せて実施

【オンラインでの対話】

- ①教員………Meet を実施する日時について、事前に調整をする。
- ②児童生徒…休み時間や放課後に担任等とつながり、様子を伝えたり、質問をしたりする。

【リアルタイム配信(Meet)による授業】

- ①教員………学級の全保護者にオンライン授業に関する許諾を得る。※
授業を受ける本人と保護者に、オンライン授業の注意事項について周知徹底を図る。※
↓
授業配信の準備をする。
- ②児童生徒…Meet で授業に参加する。

※個人情報保護、プライバシー権、著作権等の関係上、許諾と注意事項の遵守が必須条件となります。



オンライン対話やリアルタイム配信についても、必要に応じて実施します。

問合せ先

大和市教育研究所

大和市下鶴間 1 - 1 - 1

Tel : 046-260-5213